

# 泉平のエコ物流

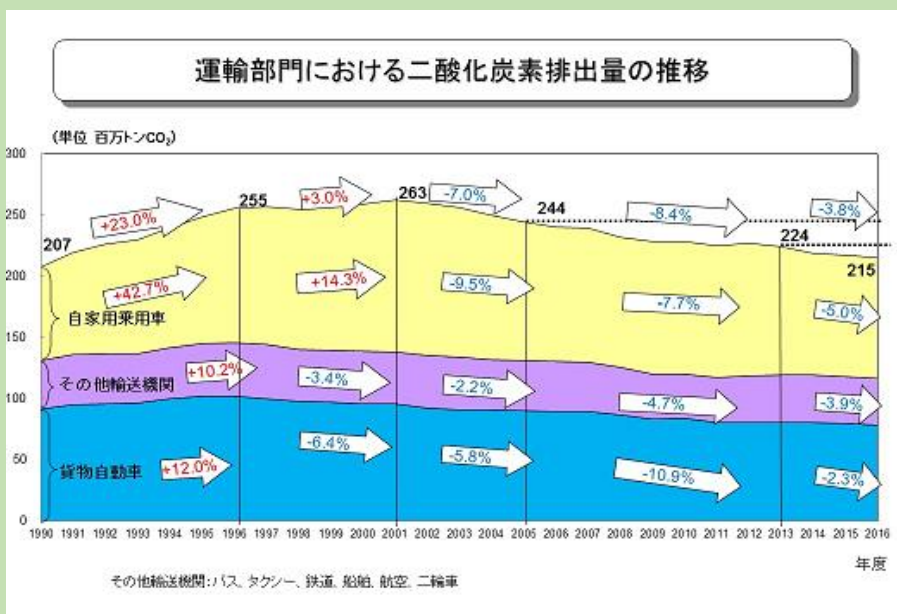


## 環境に配慮した エコ物流に取り組んでいます

### 物流における環境問題

CO<sub>2</sub>の排出は、国際的な社会問題のひとつです。低炭素社会に向けてのCO<sub>2</sub>削減は、物流に関わるすべての事業者者に要求されています。

国土交通省の報告によると、2016年度における日本の二酸化炭素排出量は12億600万ト。そのうち、運輸部門からの排出量は17.9%を占めており、そのうち自家用乗用車は46.1%、営業用貨物車が19.6%、自家用貨物車が16.8%、その他は船舶や航空、鉄道などの輸送機関です。2016年度の排出量CO<sub>2</sub>排出量（2億1500万ト）は、旅客輸送における自動車の燃費改善や、貨物輸送における輸送量の減少等により、2001年度比で年々減少しています。



国土交通省発表資料より

「食」を通じて人をつなぎ、  
「物流」を通じて地球を笑顔に



### 車両のエコ化

限りある資源とCO<sub>2</sub>削減のために、地球環境に優しい車両のエコ化に順次取り組んでいます。

- ▶ **全社の営業乗用車をハイブリッドカーへ順次変更**  
⇒ 燃費が良く、環境にも優しいハイブリッドカーへ順次変更しています。  
トヨタアクア・トヨタカローラフィールダー・スズキワゴンR・ダイハツムーブ
- ▶ **全社冷凍車両にアイドリングストップ装置「エコストップ」を装着**  
⇒ 冷凍車両全63台に「エコストップ」装置を装着しています。また、5年周期で全車両を燃費性能とCO<sub>2</sub>削減効果の高い車両に入れ替えています。

### エコドライブの推進

急加速や急減速、急停止などの運転は、燃料の浪費になります。つまり、安全な運転は、環境に配慮した運転につながります。当社では、運転内容を点数で評価できる仕組みを取り入れており、定量的な指標のもと管理・指導し、エコドライブの推進を実施しています。

- ▶ **ふんわりアクセル「eスタート」の実施**  
⇒ 燃費を向上させる「やさしい発進」を行うことで、10%程度燃費が改善されます。（最初の5秒で時速20km程度が目安）
- ▶ **エコドライブ運動**  
⇒ 2018年度よりトラック協会に参加し、運転を通じて乗務員の意識向上を図っています。